



2018年に生誕120年を迎えるジョージ・ガーシュウィン(1898-1937)は、ポピュラー音楽とクラシック音楽の両面で活躍し、ミュージカル、映画音楽、管弦楽曲等々、数多くの作品を作曲、新しいアメリカ音楽を作り上げた偉大な作曲家。「ラプソディ・イン・ブルー」「ポーギーとベス」「パリのアメリカ人」、さらには数多くの映画に提供された作品は、新しい文明が開いた20世紀の音楽を象徴するものとして、今尚輝きを放ち、多くのファン、音楽家たちに愛され続けています。

本公演では、「アイ・ガット・リズム」を合言葉に、ジャズがもつ自由な精神とともに、エネルギー溢れるサウンドを新年の幕開けにお届けしたいと思います。

このガーシュウィン作品に21世紀の命を吹き込むのは、ジャズ・ピアニストとして、今もとても輝いている山中千尋さん率いるピアノ・トリオ。そして、大和田レインボウ・プロジェクト*参加者たちとの共演もお楽しみください。

プロジェクト・リーダー

山中千尋 (やまなか・ちひろ) ピアニスト/作曲家/アレンジャー/プロデューサー

ニューヨークを拠点に世界を駆ける、日本が誇る女性ジャズ・ピアニスト山中千尋。リリースされたアルバムは、すべて国内のあらゆるJAZZチャートで1位を獲得。米メジャー・レーベルのデッカ・レコードとも契約を果たし、全米デビューも飾った、ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているピアニスト。デビュー15周年を迎えBlue Noteからリリースされた3作目のオリジナルアルバム『Guilty Pleasure』の発売記念ツアーは全国で大盛況となった。



今春には名門ジャズクラブのロンドンのロニー・スコット、パリのニュー・モーニング、ミラノのブルーノート、ワシントンのブルースアレイに出演。それらの公演はソールド・アウトとなるほどの評判を博し、英国ガーディアン紙のジャズレビューでも激賞された。米NBCラジオ、カーネギーホール、ケネディーセンターで自己のトリオで出演する他、米リンカーンセンターでのジェームス・P・ジョンソン・トリビュート記念コンサートにイサン・アイバーソン、エリック・ルイスらとともにソロで出演し、好評を博した。今年夏に発表された生誕100年を迎えるジャズの巨匠セロニアス・モンクへのオマージュアルバム「モンク・スタディーズ」も好評を博している。第23回日本ゴールドディスク大賞、スイングジャーナル誌ジャズディスク大賞、NISSAN PRESENTS JAZZ JAPAN AWARDなど権威ある賞を多数受賞。一昨年9月から米パークリー音楽大学助教授として後進の指導を開始。

※都合により、出演者、演奏曲目等に変更のある場合がございます(不可抗力により表記日時の公演を中止する場合がございます。チケットの払い戻しは致しませんので、予めご了承ください)。
※未就学児からご入場いただけます。チケットをお求めください。未就学児のご入場については、周りのお客様へご配慮くださいますようお願い致します(鑑賞の妨げになるような場合は、ご退場をお願いすることがございます)。
※場内での撮影・録音・飲食は固くお断り致します。
※車椅子席はホール事務室にお問合せください。
※12/29~1/3は休館日となります。公演当日のお問合せは13時よりお願い致します。

渋谷区文化総合センター大和田 SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町23-21



アクセス1: 渋谷駅より徒歩5分
国道246号を越えてセルリアンタワーと渋谷インフォスターの間に位置します
アクセス2: 大和田シャトルバスまたはハチ公バス(タヤけこやけルート)にて
乗車時間約2分
バス停「渋谷駅ハチ公口」から乗車、次のバス停「文化総合センター大和田」下車

●お問合せ
渋谷区文化総合センター大和田(3F)ホール事務室
TEL 03-3464-3252 (受付時間 10:00~19:00)
FAX 03-3464-3289

講師・編曲

松本治 (まつもと・おさむ) トロンボーン奏者/作曲家/アレンジャー

*大和田レインボウ・プロジェクトとは…

未来を担う子どもたちのための音楽体験・発表の場として渋谷区が2014年にスタートしたプロジェクト。これまでの3年間は“愛とビートルズ”をコンセプトにジャズに挑戦してきました。

4回目を迎える今回は、テーマを新たにガーシュウィン作品に挑戦します!

引き続きプロジェクト・リーダーに山中千尋さんをお迎えして、そのジャンルを代表する講師陣から直接指導を受け、さくらホールでの本番に向けて、仲間たちと一緒に音楽作りをしていきます。小学生から高校生までの管楽器を学ぶ音楽大好きなメンバーたちが3か月間のレッスンを経て、プロミュージシャンたちとの共演を目指します。